



消防庁国民保護・防災部防災課
国民保護運用室運用係長

谷神 善洋
TANIGAMI YOSHIHIRO

平成 16年 10月 総務省採用
自治行政局選挙部政治資金課収支公開室
平成 18年 4月 高知県総務部財政課
平成 19年 4月 同 政策企画部市町村振興課
平成 20年 4月 地方公務員災害補償基金補償課
平成 22年 8月 総務省消防庁国民保護・防災部防災課
応急対策室応急対策係長
平成 24年 4月 消防庁国民保護・防災部防災課応急対策室
応急対策第一係長
平成 25年 4月 自治財政局交付税課交付税第二係長
平成 26年 4月 大臣官房秘書課秘書第二係長
平成 28年 4月 自治行政局選挙部政治資金課
政党助成室助成第一係長
平成 29年 4月 自治行政局選挙部政治資金課政党助成室企画係長
平成 30年 4月 現 職



ミサイル情報をお伝えします

Jアラートに携わる仕事

消防庁でイメージされるのは、火災、地震、風水害などに対応する業務を真っ先にイメージされるかと思いますが、私の所属である国民保護運用室では、日本に対する武力攻撃や大規模テロなどに対応するための業務を行っています。

みなさまも記憶に新しいと思いますが、平成29年に日本上空を通過するミサイル発射事案がありました。その際に活用されたのがJアラートです。

当時、ミサイルの対象地域に在住されていた方は、実際に防災行政無線から流れる不気味なサイレン音を聞く機会があったかと思います。このような緊急事態の発生を国民に確実に伝え、迅速な避難行動を促すため、Jアラートの安定的な運用・整備に日々取り組んでいます。

今後はラグビーワールドカップや東京オリンピック等、日本において国際的なイベントが続けて開催されます。テロ対策等の重要性は益々上がってきていますので、非常にやりがいのある仕事だと感じています。

総務省と消防庁

消防庁は総務省の外局です。総務省内の人事異動と同様に消防庁にも配属されることがあります。私自身も総務省で採用されましたが、消防庁に異動し、東日本大震災も経験しました。

発災当時は大変でしたが、普段は立ち入ることの無いような総理官邸内にある危機管理センターでの勤務や、被災地への現地派遣等、非常に貴重な経験をすることができました。また、実際に消火活動をしていた人や救急救命士など、現場で働いていた方が多数勤務しているので、現場の話を聞きながら仕事をするのは刺激にもなります。

その後、総務省へ異動することになりましたが、このときの経験を生かし、再び消防防災行政に携わりたいと思っていたところ、2度目の消防庁勤務となりました。

このように総務省で採用されていても、消防庁で勤務することもあります。消防防災行政に興味を持っている方は是非総務省に足を運んでみてください。

Q 仕事をする上で心がけていることは何ですか？

A 新聞やインターネットなどを用いた情報収集です。自分の業務に関係ありそうなワードはアンテナを高くして収集しています。特に今の所属であれば「Jアラート」というワードが流行語としても認識されているほど紙面に載りやすいため、災害や訓練等でJアラートが活用される機会があった際は、「住民に対して正しく伝わっているのか」、「システムで改良するべき点があるのか」等を意識しながら情報を集め、より確実で迅速な情報伝達を目指していきたいと心がけています。

Q これまで一番大変だった仕事は何ですか？

A 東日本大震災の対応です。消防庁危機管理センターにおいて連日の災害対応の他に、官邸や被災地への派遣も続き、なかなか帰れない日々が続きましたが、まさにこれが消防の本業なので、緊張感を持って業務に臨めました。

Private Time

休日は競馬を見ることが多いです。
私が高知県へ出向している際にはよく高知競馬場に通っていました。当時の高知競馬場は閑散としていて存廃の岐路に立たされているような状態でしたが、少ない観客とともに静かな競馬を楽しむところに何とも言えない魅力を感じました。
近年は業績が回復し、順調に経営ができていくと聞き一安心です。

